

# 第53代横綱 琴櫻傑將



その思われた体を  
生かして柔道と相撲に  
汗を流しました

琴櫻の本名は鎌谷紀雄  
少年の頃から  
体が大きく

柔道は  
警察官だった  
父親が手ほどきを  
相撲でも大活躍し  
全国高校相撲大会では  
個人3位に入賞しました!

中学2年生で  
初段位を獲得

しかし  
昭和33年  
12月  
――  
東京行きの  
夜行列車にいました

偶然これを見つけた  
佐渡ヶ嶽親方は  
代理人を介して  
鎌谷家に紀雄の入門を  
申し入れましたが……

柔道には  
紀雄には  
柔道の道を  
歩んでもらいたく  
大学へ進学させよう  
思うとります

しかし  
柔道は  
警察官だった  
父親が手ほどきを  
相撲でも大活躍し  
全国高校相撲大会では  
個人3位に入賞しました!

オレ相撲取りに  
なりた  
どうか東京に  
行かせてください

紀雄の固い決意を  
聞かされた父親は  
しぶしぶ承諾したのです

まだまだ  
もう一番  
お願い……

まだまだ  
もう一番  
お願い……

よし  
次だ!

……失神  
したぞ

失神しないと  
稽古が終わらない  
なんて、どれだけ  
稽古好きなんだよ

昭和34年1月場所  
師匠から貰った  
琴櫻の四股名を  
初土俵を踏むと……

稽古で鍛えた  
体力と柔道  
仕込みの投技で  
快進撃!

……失神  
したぞ

失神しないと  
稽古が終わらない  
なんて、どれだけ  
稽古好きなんだよ

昭和34年1月場所  
師匠から貰った  
琴櫻の四股名を  
初土俵を踏むと……

稽古で鍛えた  
体力と柔道  
仕込みの投技で  
快進撃!

その後、投げ技中心から  
前に出る  
突き押し相撲に変えて  
快進撃!

昭和37年7月場所には  
十両入りし  
すぐ後に2度の優勝を  
果たして幕内に入りました

そして、昭和39年初場所に  
新小結の座を  
獲得すると

大関横綱も  
近いと  
周囲の期待も  
高まりました

ところが  
6日目の  
横綱戦にて

最初の  
試練が……

琴櫻は右足首に  
再起不能と  
言われるまでの大けがを  
してしまつたのです!

昭和45年6月2日  
私生活でも佳き日を  
迎えました  
岩下章予さんと  
華燭の典を挙げ  
800人を超す人々から  
祝電をうけました

しかし!

復活した琴櫻の  
突き押し相撲は  
さらに磨かれて  
いました  
その姿は「猛牛」と  
呼ばれるほど!

その勢いで  
昭和42年の9月場所に  
二横綱と大関を倒し  
11月場所で大関に昇進したのです

昭和45年6月2日  
私生活でも佳き日を  
迎えました  
岩下章予さんと  
華燭の典を挙げ  
800人を超す人々から  
祝電をうけました

大関から横綱へは  
近いと思われていた  
琴櫻でしたが、その後も  
ケガに泣かれ  
大関在位は長期に……

ところが  
昭和47年11月場所  
強烈な出足で  
白星を重ねて  
優勝すると

翌年  
昭和48年1月場所に  
14勝1敗の好成績で  
連続優勝を果たし

そして  
第53代横綱  
「琴櫻」が  
誕生!

横綱在位中は  
1回の優勝を  
果たし  
昭和49年7月場所に  
借しまれながら  
引退しました

引退後は  
佐渡ヶ嶽部屋を  
継ぐと自ら  
胸を貫し

琴風  
琴若  
現、佐渡ヶ嶽親方ら  
多くの力士を育て  
合計24名の関取を  
世に送り出しました

また故郷の倉吉で  
毎年開催される  
桜すもうに協力し  
部屋の力士を  
同行させました

子どもたちが  
夢を言ふと  
ほしとの  
思いからです

子どもたちの歓声や  
笑顔を見つめる  
優しい  
眼差し……

そんな琴櫻も  
平成19年  
8月14日……  
66歳でその生涯を  
閉じました

しかし  
倉吉を  
訪ねると……

大好きな倉吉を  
見守るように  
颯爽と立つ琴櫻に  
会うことができません

# 第53代 横綱 琴櫻傑將

こと ざくら まさ かつ  
ゆかりの地めぐり



優勝五回のうち、初優勝時のものと、連続優勝で横綱昇進を決めた時のものを展示。白黒写真に油彩画で彩色されています。

優勝五回のうち、初優勝時のものと、連続優勝で横綱昇進を決めた時のものを展示。白黒写真に油彩画で彩色されています。

優勝五回のうち、初優勝時のものと、連続優勝で横綱昇進を決めた時のものを展示。白黒写真に油彩画で彩色されています。



↑ミツ揃いの化粧廻し  
横綱になって最初に贈られた三ツ揃いの化粧廻しです。大山(太刀持)・打吹山(横綱)・浦富海岸(露払い)の、郷土鳥取にちなむ絵柄で、最後の土俵入りの際にも使われるほど、大切にされています。

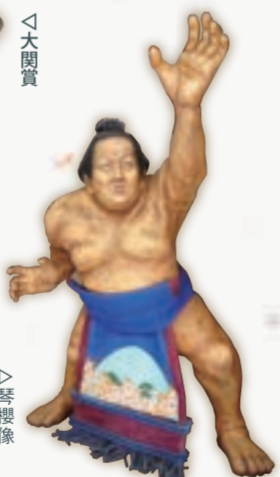


無入料館

## 第五十三代横綱 琴櫻記念館

貴重な化粧廻しや写真パネル、入門から逝きまでの軌跡をまとめた佐渡ヶ嶽部屋オリジナルDVD、天皇賜杯など琴櫻ゆかりの品々を展示しています。

所在地 鳥取県倉吉市魚町二五一八  
電話 〇八五八一三二一四六〇八  
開館時間 九時～一七時  
休館日 毎週水曜日・年末年始  
記念館HP [記念館HP](#)



△琴櫻像



△天皇賜杯

↑トロフィー  
天皇賜杯・愛知県知事賞ほか、優勝すると贈られるトロフィーのレプリカ。大関賞は本物同様、杯部分はずして使えるようになっています。



↑写真パネル  
倉吉農業高校時代から、番付を駆け上がって行く節目、横綱昇進凱旋パレード、最後の土俵入り、弟子育成、恒例の桜さもろ観戦の様子などを写真で振り返ります。



△桜番付

5 銅像・顕彰碑  
広げた両手で「積極的な攻め」をあらわす不知火型の土俵入り姿です。押しに徹した琴櫻の相撲ぶりが象徴されるかのようにです。  
鳥取県倉吉市仲ノ町 (観光駐車場横)



6 JR倉吉駅(凱旋パレード)  
昭和四十八年、琴櫻が横綱に昇進したとき、倉吉駅から、白壁土蔵群が建ち並ぶ打吹地区まで凱旋パレードが行われました。  
鳥取県倉吉市上井



1~6 赤瓦一号館~十八号館 (四号館、九号館、十四号館は無し)  
こだわりのお店やギャラリー、工房など15の店舗からなる。買い物・イベント・体験などお楽しみがたっさん。

2 ラムネ工場跡  
ここで長くアルバイトをしていました。瓶の入ったケースを、ひよいと軽々運んでいたと語り草になっています。現在は観光案内所です。  
鳥取県倉吉市魚町二五六八  
電話 〇八五八一三二二二〇〇

3 菅茂神社  
長い石段があります。柔道に励んでいたころ、雨の日も雪の日もトレーニングを欠かさなかったそうです。冬でも裸足だったとか。  
鳥取県倉吉市魚町五八六  
電話 〇八五八一三二四四七九

4 倉吉市営相撲広場  
第五十三代横綱 琴櫻(故・十二代佐渡ヶ嶽親方)の顕彰と子どもたちの健全育成を目的に昭和五十四年から毎年開催されている「桜さもろ」の会場です。  
鳥取県倉吉市葵町



## 琴櫻傑將 年表

- （ことざくら まさ かつ）  
倉吉市鍛冶町に生まれる  
本名 鎌谷紀雄
- 昭和15年 倉吉市鍛冶町に生まれる
  - 昭和33年 佐渡ヶ嶽部屋に入門
  - 昭和34年 初土俵(一月場所)
  - 昭和35年 三段目優勝(二月場所)
  - 昭和37年 新十両・十両優勝(七月場所)
  - 昭和38年 十両優勝(二月場所)
  - 昭和39年 新入幕(三月場所)
  - 昭和40年 小結昇進(一月場所)
  - 昭和42年 大関昇進(七月場所)
  - 昭和43年 初優勝(七月場所)
  - 昭和44年 二度目の優勝(三月場所)
  - 昭和47年 三度目の優勝(十一月場所)
  - 昭和48年 四度目の優勝(一月場所)
  - 昭和49年 五度目の優勝(七月場所)
  - 昭和49年 引退(七月場所)
  - 昭和54年 佐渡ヶ嶽襲名
- 第五十三代横綱昇進 (三十二歳)  
五度目の優勝(七月場所)  
引退(七月場所)  
佐渡ヶ嶽襲名
- 倉吉市名譽市民授与  
平成15年 日本相撲協会を停年退職(十一月)  
平成17年 8月14日、死去(六十六歳)

## 輩出した関取

琴風・琴ノ若・琴奨菊・琴欧洲・琴稲妻・琴椿・琴ヶ梅・琴別府・琴錦、他十五名

## 琴櫻将傑

孫の二代目琴櫻が、二〇一九年に二代目琴ノ若の名で十両に昇進。史上初の三世代関取昇進として注目を集めました。  
この二〇二四年に大関に昇進。大関になつたら琴櫻の名をやる」との約束通り、祖父の名を襲名。その名に恥じぬ活躍をしています。



【二代目琴櫻関(琴櫻襲名・大関昇進祝賀パーティーより)】

お問い合わせ  
倉吉白壁土蔵群観光案内所  
電話 〇八五八一三二二二〇〇  
第五十三代横綱 琴櫻記念館  
電話 〇八五八一三二四六〇八